# はままつクリエイティブスイッチ　開催レポート
# 「作曲ソフトに触れてみよう！」

開催日：2026 年 9 月 19 日（土）
会場：クリエート浜松　21 講座室
講師：Riri さん

作曲ソフトを使って音を組み合わせるワークショップを開催しました。講師は、作曲・DJ・ギター・シンセ講師の Riri さんです。タブレットやスマートフォンで GarageBand を開き、用意された音素材を聴いて選び、並べたり重ねたりしながら、曲のを作る体験ワークショップを行いました。

## ■好きな音楽と、これからやってみたいこと

はじめにアイスブレイクとして、参加者の自己紹介からはじまりました。
参加者の自己紹介では、好きな音楽や将来の目標について質問。ゲーム音楽、洋楽やロック、ドラムの音が好きといった話や、アニメーターを目指したい、高校で軽音部に入りたいなどの話が出ました。
Riri さんは、映像制作や楽器の演奏に作曲を組み合わせる例を挙げ、それぞれの関心と曲作りを結び付けながら応じていました。



## ■今日の目標は、まず曲の形を作ること

今回の目標は、細かな音の仕上げまで行うことではなく、曲の大まかな形が分かる「デモ曲」を作ることです。普段聞いている曲をプラモデルに例え、今回は塗装まで仕上げる前の、組み上げの形を目指すと伝えました。
まずは音の素材を使って曲作りの入り口に触れることを目標としてワークショップを進めました。

## ■メロディー、コード、ベース、リズムを知る

まずは曲の要素には歌う部分として意識しやすいメロディー、その背景を支える和音のコード、低い音で輪郭やリズムを支えるベース、そしてドラムなどのリズムがあることを説明しました。Riri さんはまずは曲の心臓部分となるリズムを選び、そこにベースやコードなどを加える順番で楽曲を作る方法を紹介しました。



## ■音素材を聴いて、画面へ並べてみよう

Riri さんは、GarageBand の Apple Loops から音素材を選び、曲を作るための操作を実演しました。音素材を 2 つ並べた例を示し、少ない音素材でも曲らしい形になることを紹介しました。
参加者も実際にタブレットやスマートフォンでアプリを開き、音を選ぶ作業へ。講師は席を回り、素材の一覧やトラックの表示など、実際の画面を見ながら操作を案内しました。

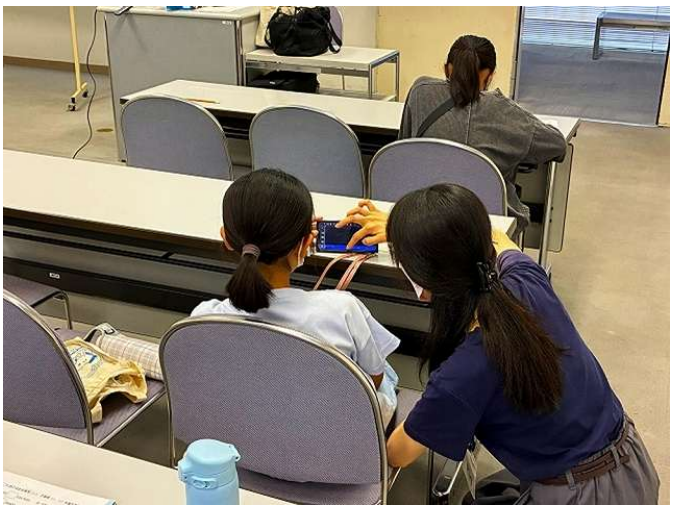




## ■料理の具材のように、組み合わせを試す

曲作りは、1 つの音を選んで終わりではなく、気に入った音に別の音を重ね、どんな響きになるかを聴いて確かめながら進めていきます。Riri さんは音素材を料理の具材に例え、単独ではよいと思ったものでも、組み合わせると合わない場合があることを説明し、いろいろ音素材や組み合わせを試してほしいと伝えました。

音を加えるだけでなく、消したりずらしたり、別の素材に替えたりしながら、自分の組み合わせを探す時間となりました。





## ■それぞれの画面を見ながら、制作をフォロー

Riri さんは、参加者が選んだ音や並べ方を見て声を掛けながら制作を支援。イントロとサビで異なるビートを使う例や、音を横に並べる方法、縦に重ねる方法を紹介し、音の配置の工夫にも触れました。最初に何を選ぶかで迷ったときも、完璧なものを決めようとせず、まず一つ置いてから試すよう案内しました。

## ■自宅でも、音を組み合わせる楽しみを

最後に、音楽はやりたいと思ったときに始めてよいこと、自宅でも好きなように試してみてほしいとお話しがありました。
今回の講座では、音素材を選び、組み合わせて自分で曲の形を作るところまでを実践しました。メロディーやリズムなどの役割を知り、音を重ねた結果を聴いて、また選び直す、そうした試し方を学ぶ作曲体験となりました。

